

## SS立志講演会

1月18日(木)⑤⑥限に松山高校の卒業生で伊藤忠商事株式会社 元常務取締役 吉野芳夫氏をお招きし、「商社マンの目から見た～世界&日本の食料問題」というタイトルで講演会を開催しました。吉野芳夫氏は東京大学を卒業後、一貫して食糧・食品業界で活躍されてきました。今回は、そのご経験をもとにした「これからの食糧問題」とともに、「世界に目を向ける大切さ」についてお話いただきました。

質疑応答の時間には、吉野さんが中心的に関わったバナナの話で大いに盛り上がりました。松山高校出身で、世界で活躍した吉野さんのお話は、これから社会に出ていく生徒達にとって有意義なものとなりました。



## SS講義家庭 「社会に出て気を付けたいお金のこと」

1月9日(火)⑥⑦限に理数科2年生を対象に、一般社団法人全国銀行協会のパブリック・リレーション部金融リテラシー推進副調査役 上前光宏さんを講師にお招きして「社会に出て気を付けたいお金のこと」というテーマで講演をしていただきました。

ライフイベントの実現にはお金が必要です。人生に必要なお金について、家計の管理について、働いてお金を稼ぐとは、ローンクレジットカードの正しい使い方について、ワークシートを活用しながら学びました。高校2年生の生徒たちには、働くことや今後の人生に必要なお金の話など、まだ実感が湧かないようでしたが、いずれ自分もその立場になることを意識したのではないかと思います。



## SS理数数学 出張講義 「A4のふしぎ」

1月23日(火)⑥⑦限に理数科1年生と希望者を対象に、東京電機大学理工学部教授 碓(はずま)文夫氏をお招きして「A4のふしぎ」というタイトルで講義をしていただきました。

A4やB5など紙のサイズにまつわる話から白銀比、黄金比についてなど、身の回りのちょっとしたところに数学が隠れているという内容でした。A版の紙の短辺と長辺の比が $1:\sqrt{2}$ であり、それを生徒たちが実際に紙を2回折ることで証明する方法を考えたり、同様に紙を2回折って1.5を作ったりと、とても楽しめる内容で生徒たちの知的好奇心が大いに刺激されました。碓先生は最後に「美しいと感じるものや自然現象の背景に数学的な構造(しくみ)がある」とまとめられました。



## SSH生徒研究発表会のお知らせ

2月10日(土)にSSH生徒発表会、松高科学展(松高賞)などが行われます。今年は、本校を会場として、午前中は4階の視聴覚室で口頭発表(SS科学探究II・SS理数数学IIから5本、科学系部活動から各1本の計10本の発表)があり、午後にはHR棟1階講義室①と②でポスター発表(SS科学探究I・II、SS理数数学IIおよびSS数学探究I、物理部、化学部、生物部、地学部、数学部)があります。それと合わせて、市内小学生・中学生の研究のポスター発表もおこなわれます。優秀な研究には、松高賞(最優秀賞、優良賞、プレゼン賞等)が授与されます。

この発表会には、学校外からも多くの先生方が参加して生徒の研究を見ていただけます。理数科1・2年生と科学系部活動の生徒の参加が中心となりますが、普通科の生徒も興味がある人はぜひ参加してください。